

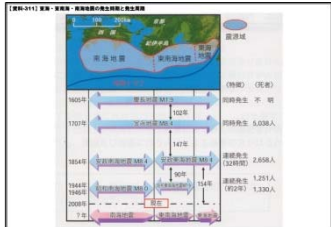

小学校 5・6年生 (3-1)

II 対処行動を知る B 津波からの避難方法を知る 【学級活動 2時間】

1 目標

- ・地震や津波から正しく、安全に避難するための方法や心構えを理解する。
- 1 時間目：地震から身を守るためにはどう行動すればよいかを確認する。
- 2 時間目：津波から身を守るためにはどう行動すればよいかを話し合う。

2 展開 (1 時間目)

	学習活動と内容 主な発問・指示 (◇)、予想される子どもの反応 (・) など	指導上の留意点 支援 (○)、評価 (☆)、参考 (●) など
導入	<p>1 近い将来、発生が予想されている東南海・南海地震に対する意識を高める。</p> <p>◇日本で起きた地震や津波について、どのようなことを知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災 ・南海地震 ・阪神淡路大震災 ・社会の時間に做った関東大震災 <p>◇昭和21年(1946年)の南海地震津波の被災体験について、ビデオを見てみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【動画】DVD イントロダクションを上映</p> </div> <p>◇ビデオを見た感想を発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験が生々しかった ・被災写真がすごかった。 ・こんなことが起こっていたなんてびっくりした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【資料-311】を配布</p> </div>  <p>【資料-311】東海・東南海・南海地震の発生時期と発生周期</p> <p>◇今日の学習のテーマは、“地震や津波から身を守るために”です。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>学習課題『地震や津波から身を守る方法を考えよう。』</p> </div>	<p>○過去、日本で起きた地震や津波について、子どもの知識を確認するため、ヒント等は与えず、自由に発言させる。</p> <p>○知っているか、知らないかについて、挙手させてもよい。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【動画】イントロダクション 大津波が和歌山を襲った〜昭和南海地震津波〜 (3:00)</p> <p>○【資料-311】を配布し、和歌山県が繰り返した地震津波に襲われてきたことを確認する。</p> <p>○DVD サブタイトル「その時キミは…」を投げかけ、災害時に自分がどう行動すべきかを考えるのが、本時の課題であることを確認する。</p> <p>☆津波の威力を実感するとともに、地震や津波に対する備えの必要性を意識できたか。</p> <p>●学校が津波の来ない地域にある場合は、津波が来ると想定して本時の指導を行う。</p>

	学習活動と内容 主な発問・指示（◇）、予想される子どもの反応（・）など	指導上の留意点 支援（○）、評価（☆）、参考（●）など
展開	<p>2 地震による揺れがおさまった後、どのように行動すべきかについて考える。</p> <p>◇地震発生時、身を守るためには、どのような行動をとればよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭をかかす。 ・机の下にかくれる。 ・火を消す。 ・家具から離れる。 ・低い姿勢を取る。 <p style="text-align: center;">【ワークシート-31】を配付</p> <p>◇ゆれがおさまった後、身を守るためにはどのように行動すればよいかについて考えます。班になって、次の3つの場面で話し合しましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校にいるとき ②自宅にいるとき ③地域でいるとき（校区を想定）。 	<p>○身を守るためには、まず揺れがおさまるまでの行動が重要であることを確認する。（既習事項）</p> <p>○阪神淡路大震災では、死因の9割が圧死であることを伝える。</p> <p>○続いて、【ワークシート-31】を配付し、揺れがおさまった後の行動を考えることを確認する。</p>
まとめ	<p>3 学習してわかったことを確認する。</p> <p>◇今日の授業を受けて、感想をワークシートに書いてください。</p> <p>◇身を守るための行動について学習したところで、2時間目の授業は時と場所に合わせた行動を具体的に考えていきましょう。</p>	<p>○班になって考えたことを各自で【ワークシート-31】に記入させる。</p> <p>○1時間目の内容をふまえ、2時間目の学習内容を簡単に説明する。</p> <p>●2時間続きの授業の場合は、まとめについては割愛してもよい。</p>

※2時間目の展開は、次ページを参照してください。

	学習活動と内容 主な発問・指示（◇）、予想される子どもの反応（・）など	指導上の留意点 支援（○）、評価（☆）、参考（●）など
	<p>◇それでは、各班から発表してもらいます。</p> <p><①学校にいるとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上に逃げる。 ・指定の避難場所に行く。 <p><②自宅にいるとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定の避難場所に行く。 ・家は安全だから逃げない。 ・ハザードマップを確認しておく。 <p><③地域にいるとき（校区を想定）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海や川に近づかない。 ・友達と一緒に逃げる。 ・ハザードマップに従う。 <p>◇みんなで話し合しましょう。</p>	<p>○時間の都合で、班で①～③を分担して話し合ってもよい。</p> <p>○出された意見は、まず指導者が受け止める。その上で、誤解を与えるような内容については、改めて考えさせたり、助言したりする。（例）海から遠くに逃げる。</p> <p>○学校の地震・津波対応マニュアルの内容について、必要に応じて子どもに説明する。</p> <p>○東日本大震災では津波到達予測地域の外で多くの死者が出たことを説明する。可能であれば、地域のハザードマップを提示する。（フィールドワークをする際の重要な視点となる。）</p> <p>○出された意見について大事なことを確認する。</p> <p>☆ビデオで強調されていた「1秒でも早く、1ミリでも高く」の内容を理解できているか。</p> <p>☆津波避難3原則の視点から、児童の意見を評価することも考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定にとられるな。 ・最善を尽くせ。 ・率先避難者たれ。
まとめ	<p>3 学習して気づいたことを発表する。</p> <p>◇今日の授業を受けて、感想をワークシートに書いてください。</p>	<p>☆地震や津波から身を守ろうとする主体的な姿勢を高めることができたか。</p> <p>○【ワークシート-31】を回収し、まとめたものを教室掲示しておく。</p>

4 備考

5 その他資料（出典）

- ・【資料-311】【資料-312】：和歌山県津波防災教育DVD『TSUNAMI 津波来襲～その時キミは…～』解説書
- ・副教材例「津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』」（企画・制作：気象庁 制作・協力：東映株式会社）